

和光市議会議員

30歳

無所属



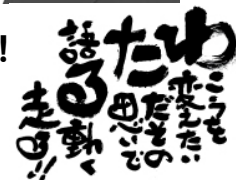
井上わたると

新しい和光をつくる会 第22号

～ 配る ホームページ ～

あなたは 25万3001 番目の読者です。 ← 前号までにお届けした枚数です。

議員活動も4年目突入！
今年 は 4年間の任期の
総決算の1年です！



和光市長選挙から間もなく1年—市制40周年、そして「新しい和光」へ

3月定例会では、松本武洋市長のもとで初めて編成された新年度予算を含む 全ての議案が可決・成立しました。

私は皆様によく「市長が変わって和光は良くなった？」と尋ねられます。その質問に私は「はい。確実に変わり始めました！」と答えています。

3月定例会で、私は初日に会派 新しい風を代表して“施政方針に対する代表質問”、最終日には“予算に対する賛成討論”を行い、全ての審議に正面から挑みました。

「討論」というのは「なぜその議案に賛成（もしくは反対）したか」を議場で述べることですが、私は今回の討論に「市民の皆さまにも聞いてほしい」という想いを込めています！

（紙面の都合上全ては載せられませんが）、新年度予算のポイントを整理しています。ご一読ください。

新年度予算 賛成討論

私が掲げる予算の見極めの3つのポイントは次の通りです。（右図）

昨年度はこの視点で見た時、不十分な予算編成でしたが、新年度予算はその要素を満たす内容と判断し、予算案に賛成します。（次ページへ続く）



（写真）3月議会の様子

| 見極めポイント | 21年度 | 22年度 | 具体例 |
|-------------------------|------|------|---|
| 根本的な予算削減に向けた対策が取られたか？ | × | ○ | 事業仕分け （1,000万円以上削減） ヤリクリ大作戦 （1億7,000万円以上の節約） 大規模事業検証会議 で事業の「選択と集中」 |
| 財政上の危機意識をもって予算編成をしているか？ | × | ○ | 補助金の見直し （国の「子ども手当」による増額等を除くと） 昨年よりも絞った予算を編成 |
| 必要な施策へ予算のウェイトを置いてあるか？ | △ | ◎ | 子ども医療費無料化の拡大（2011年1月から） 家庭保育室の保育料助成 75歳以上への人間ドック助成 等 |

(賛成討論の続き)

そして「子ども医療費助成の拡大」は、今住んでいる市民へのサービス向上と共に、将来を見越した自治体経営の視点でも必要な施策と考えます。(右図参照)

また、大和中学校 体育館の耐震工事(=「建て替え」を実施)については、

①これまでの経緯 (右下図)

②厳しい財政状況

③新倉・下新倉地区へは小学校を優先して新設を目指すという方針決定

以上3点を踏まえ、慎重な判断・検討を重ね、出された結論だと理解します。今後は、生徒の安心・安全のため、事業を推進してほしい。

以上を賛成討論とします。

最後に。私たち議会も、この予算が適切に執行されるかをしっかりとチェックしてまいります。

～「子ども医療費助成の対象年齢」近隣自治体一覧～

| 自治体名 | 評価 | 助成年齢 |
|-------------|----|----------------------|
| 朝霞市 | ★★ | 通院小6・入院中3 |
| 新座市 | ★★ | 通院小3・入院中3 |
| 志木市 | ★★ | 通院小6・入院中3 |
| 改正前) 和光市 | ★ | 通院・入院小学入学前 |
| 改正後) 和光市 | ☆☆ | 通院小6・入院中3 に拡大します。 |

※朝刊発行
『SUUMO 埼玉版』
2010.2.9発行を参照

※2011年1月
から実施

和光市は埼玉県の「地域子育て応援タウン」にも認定されています。しかし、例えば岐阜市では、周辺自治体が「子ども医療費の助成拡大」などの子育て支援を打ち出す中、子育て世代が他市へ次々と移っていくという状況が発生しています。私は将来の持続可能なまちづくりを考える上でも、必要な施策と考えます。

～大和中学校体育館の耐震工事に関する経緯～

①市役所は「学社共用」という方法で、平日昼間でも体育の授業のない時は市民が使える体育館として建て替える計画を立てる。

②議会で「学社共用は慎重に判断すべき」と修正案が提出される。

③その後、生徒・保護者の声を聞くと「学社共用でなく教育優先で」との意見が多数を占める。またスポーツ関連団体の多くからも同様の意見が出る。
※このように、市役所の計画が市民のニーズとずれていた経緯がある。

④平成21年度の1年間で「建て替え・耐震補強のそれぞれ場合の費用や、建て替えについても複数の工法を実施できるか、調査を実施。

⑤調査結果を踏まえ、教育委員会では建て替えを推進。大規模事業検証会議では市内全中学校への早急な耐震化の促進を願う声が多く、コストを抑えられる耐震補強を推進。その後、政策会議で建て替えの方針を決定。

井上から呼び掛け 「“これからの10年”を一緒に考えましょう！」

和光市では、平成23年度～平成32年度までの10年間のまちづくりの指針となる、【第四次和光市総合振興計画】の策定に取り組んでおり、この素案に対するパブリック・コメント(=市民から意見を募集すること)を実施しています。

※資料は、市役所ホームページのほか、政策課(市役所3階)、行政資料コーナー(市役所1階)、図書館、各公民館、各出張所でご覧いただくことができます。

提出期間は、平成22年4月25日(日)～5月24日(月)です。

和光市の未来を作り上げるのは、市長・市役所・議会だけではありません！市民の皆様の意見こそが、これからのより良い10年を作ると私は考えます。



地図で見る「井上わたる の一般質問」 ～3年間の成果・取り組み～



(写真:一般質問の様子)

市議会議員には、議会ごとに「一般質問」という政策提言を行う機会が与えられています。

私は、市民の皆さまから寄せられた要望や、私自身が行なった調査・研究結果をもとに、3年間全ての議会で一般質問を実施してきました。

その成果の一部を、和光市地図を使ってご紹介します。

【この地図の見方】

(例) 実線 || 点線 || 吹き出し

実現した政策

実現してない政策

進行中の政策

廃止する施設・場所



アーバンケア計画の更なる市民参加
 野球・サッカー場に限らず
 ・冒険遊び場
 ・低コスト芝生化
 ・ビオトープ
 などの多様な活用法を提案

新設校には市の総力を結集して取り組みを!

資源ごみの抜き取り防止対策

そしてこの3年間、私が最も力を注いだのは「作ったならば使われてこそその公共施設。そのためには計画前の段階で“行政の需要予測”を徹底的に行わせること」です。その結果、前市長のもとで立ち上がった外環道路上部の宿泊施設計画などの中止に繋がりました。私は、市役所の根っここの部分を変えるために全力を尽くしてきました。

地下駐輪場ラック増設

放置自転車対策 (ケンタッキー前)

エスカレーター設置

北口区画整理の推進

駅前スクランブル交差点に右折車線の設置

駅周辺に投票所設置

南口広場のバス停と駅舎を結ぶ屋根の設置

・介護予防の充実
 ・住み替え補助の推進

武道館の耐震診断

埼玉病院の増便への

日々の暮らしでお困りのことや市政への提言はありませんか? ご意見・ご相談お待ちしております! (連絡先は次ページ) としてももちろん、ご連絡を待っているだけでなく、私からもお話を伺いにまいります!

私はあらゆる「世代」「地域」そして「市民と行政」をつなぐ懸け橋になる! と3年前の選挙でお約束しました。

その信念を今後も貫きます!



・側道を渡る横断歩道の設置
 ・市内循環バスのゆめあい入口バス停の設置



・高齢者福祉センターの「継続雇用」の実現
 ・道路標識での安全対策

ご報告

2月～3月の2ヶ月間、大学の春休みを利用して大学生2人が「学生インターン」として、私と行動を共にし、地方政治を学びました。

若い世代が政治に関心を持ち、参加することはまちの活力を伸ばすことに繋がります！

「次の若手」の育成にも力を注いでまいります！

↓「若手育成」、もうひとつの取り組みがこちら！



(街頭演説の様子)

開催!

「若手政治家養成塾」5月にスタート!

無所属で地方から日本を変えよう。そんな志を持つ地方議会の担い手ついでとして知っておくべき知識をめぐり、埼玉県や東京都に加え、選挙ヒラの配り方内の市・区議会の若手無所属など実践的なノウハウを織り交ぜ、

若手政治家養成塾開く

属議らが5月から「若手」を交ぜ、

政治養成塾を開く。来春の統一地方選挙をにらみ、政党にとられない有

望な若手議員を生み出す狙い

2007年の統一地方選挙で当選した井上航・埼玉県和光市議や中島直樹・同市議らが、事務局の運営を担う。講義は全7回で第1回は5月15日。具体的な政治活動の説明などは、選挙戦略なども盛り込む。

来春の統一地方選にらみ

募集人員は最大20人で、受講料は1万円。締め切りは30日、論文と履歴書による書類選考後、面接で入塾者を決める。問い合わせは同事務局の中島市議(☎048・578・8612)

日本経済新聞 平成22年4月13日

来年の4月には統一地方選挙(市議選・県議選)が行われます。

埼玉には、昔から「若手が“次の若手”を育てる」取り組みがありました。私はその伝統を引き継ぎ、埼玉・東京の無所属・若手議員有志の仲間と共に「若手政治家養成塾」を立ち上げ、その運営事務局の代表を務めることになりました。

(※詳しくは **若手政治家養成塾** で検索)

政党の枠組みにとられない仲間と共に地方から日本を変えていきます!

◎ 和光の政治をわかりやすく伝えます!

「井上わたるの和光ブログ」

携帯からはコチラ →

<http://inouewataru.blog.shinobi.jp>



◎ リアルタイムで議員活動・和光の政治を伝えます!

twitter

(ツイッター)も活用中です!

ツイッターを見るには...

<http://twitter.com/inouewataru/> を入力

◆井上 航 (わたる) の経歴◆

昭和54年生まれ 30歳

平成14年 立命館大学 法学部 環境生活法コース 卒業

平成14年 株式会社パナソニック 入社

平成16年 株式会社メディカルケアーズ・ジャパン 設立・入社

平成17年 営業譲渡で株式会社シグマスタッフに。

(※いずれも、高齢者施設で働く介護職員や看護師、保育園で働く保育士の人材派遣を行う会社です。)

平成19年 和光市議会議員 初当選

◆現在の活動◆

【所属会派】 「新しい風」(無所属議員3人会派)

【委員会】 総務常任委員会、議会運営委員会

※その他、朝霞地区4市が合同で、消防・し尿処理・

障がい者施設の管理をするための

「朝霞地区一部事務組合」の議員を担当。

発行元: 「井上わたると新しい和光をつくる会」